

2015 3月議会報告

大山みちこ
090・2540・3582
桜井くるみ
080・5026・6701
ブログ・ツイッター・フェイスブックもご覧ください。

No.34
熊谷
市政だより
日本共産党
熊谷市議会
市役所内
524-1111

政務活動費
を使い発行
しています。

2月26日～3月17日まで開かれた3月議会は、平成27年度予算、および条例、請願などを審議。日本共産党議員団は一般会計予算、国保会計予算、後期高齢者部を紹介し、他は賛成しました。一般質問の1

市民の願いをまっすぐ市政に要望!

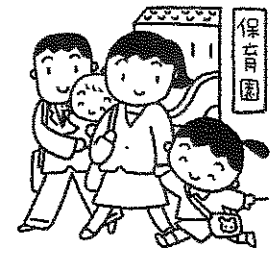


大山みちこ

保育料の引き下げで子育ての応援を

現在は、共働きの世帯が増え、子育て中の世帯にとって保育料の負担は大きく、軽減を望む声が多くあります。4月より算定基準が変わりますが、保育料の負担が増えないよう求めて質問しました。熊谷市の人口を増やすには、子育てがしやすい

環境を整えることが必要です。4月から保育料は35%以上の児童が負担増となります。多子世帯の第3子以降の軽減の拡大は朗報ですが、子どもは1人が2人の世帯が多くなっているため、対象は150人と多くはありません。3歳以上の児童も対象にするよう、また、財政調整基金などを利用して、保護者の負担を少しでも減らすよう要望しました。



桜井くるみ

国保税の引き下げを

国保加入者は全世帯の40%、32000世帯です。そのうち、所得100万円以下の世帯が52%になります。10世帯に1世帯が滞納し、50世帯に1世帯に差し押さえが行われています。市民アンケートでも国保税が「高くて払え

ない」と軽減を求める声が40%にのぼりました。国は平成27年度、全国の自治体に1700億円の財政支援を行います。熊谷市が自由に使える支援金と、70億円の財政調整基金を予算化すれば、1世帯1万円の国保税を引き下げることができそうです。京都市や福山市では実際に財政支援金を使った国保税の引き下げを行います。熊谷市も引き下げを行うよう求めました。

住宅リフォーム助成制度の創設

熊谷市では「三世代ふれあい家族住宅取得等応援事業」で住宅の新築や購入、リフォームに対して商品券で助成することになりました。市ではすでに「建築物耐震改修補助事業」「空き店舗活用支援事業」などリフォームに対する助成事業は行っています。それらに加え、特化せず、何にでも使えて、災害時でも使える住宅リフォーム助成制度を創設するよう求め質問しました。市は答弁で、「災害時の住宅補修や住宅リフォーム等にも利用できる『勤労者住宅資金貸付制度』の貸付限度額を、有担保の場合は1500万円に、無担保の場合は1000万円に各々500万円引き上げ、新たに利子補助を行うことにした。市内在住の場合、年間支払利子の25%を、また市外からの転入者を増やすために、市外からの転入の場合50%をそれぞれ5年間補助する」ことを表明しました。

公共交通をもっと充実させて

スーパーやコンビニなどの閉店、核家族化高齢化社会のなかで、今後、ますます公共交通の充実が求められています。問い 老人福祉センター江南荘とひかわ荘の送迎バスが4月からなくなるというが、県立循環器・呼吸器センターに「ほたる号」の停留所を。答え ひかわ荘と県立循環器・呼吸器センターは民間バスと競合し、江南荘は乗り入れられない。問い 高齢社会対策基本計画の中に「交通手段の確保」とあります。具体的には「介護タクシーなどの移動支援サービス」の検討を進める」とあるがその進み具合は。答え 介護保険の改正で、介護予防・日常生活支援事業の多様なサービスのひとつとして位置づけられる。

